

おたかぎ 社協だより

平成28年2月

第34号

今号の内容

- ② 年頭挨拶 / 宅老所車購入
- ③ 災害対応学習会
- ④ 介護予防サポーター養成講座
ねやねやカフェ / ちょっといい話
- ⑤ さくみち
- ⑥ さくらの園 / 社協からお知らせ

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619

いきいきクラブ



宅老所



喬木荘



デイサービス



社協では初詣に、繭玉作りなど
各部署で新年の行事を行いました。
今年もみなさまに多くの福が訪れますように。



【たかぎ社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しています】

年頭のご挨拶

喬木村社会福祉協議会

会長 忠 平 隆 三

年明けの三が日は、記録的な温かさとなり皆様方穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また常日頃は、喬木村社会福祉協議会の諸事業にご協力、ご支援賜り厚く御礼申し上げます。

平成二十八年、干支の「申」は動物では「猿」に充てられていて、「見ざる・聞かざる・言わざる」として有名な猿であり、他人の嫌なところや欠点などは、見ない・聞かない・言わないでありまして、簡単そうに私にはなかなか難しいことと感じています。

昨年は、戦後七十年ということ色々な行事で戦争という忌まわしい行為に対して語られました。また海外では多くのテロ事件が起き、自然災害では台風十八号等豪雨災害が発生しました。四月には、社協事業に大きく関与します介護保険法が改正されて、新聞の見出し部分では良い改正のように書かれていましたが、そ

の内容は厳しいものでありました。リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の新設で、今後、関東・三河方面より新しい息吹、香りが入ってくることを楽しみにしている一面、村の高齢化率は32%強となり、農業後継者等の不足も心配されるところであります。

全国的に見ても、団塊の世代が間もなく七十歳を超えることから要介護状態の高齢者が増え、介護する人々も多く必要となる時が長く続くと思われます。

社協では、多くの方々が高齢になっても自分の家、住み慣れた地で豊かな老後の人生が送れる、また、それを支援すべく、行政のご指導をいただく中「介護予防サポーター養成講座」を一月より開催しています。その他、昨年四月より村出身の医師、羽生先生のご厚意によりボランティア健康相談室を社協相談室にて行っています。また、今年に入りボランティア等の方々のご協力を得て、認知症の方、ご家族の方々のご支援の一助として「認知症カフェ」の開設に向けた打ち合わせをしていたところであり、ボランティアセンター設置につきまして

は、社協だよりでお知らせしたとおりであります。

少子高齢化が進み、全国の人口減少も予測される中、更なる地域福祉の向上を目指していきたいと考えていますので、今後共各事業にご協力、ご賛同、ご支援をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

皆様からのご寄付で購入しました

多くの皆様からのご寄付による善意銀行を有効に活用して、宅老所の送迎車を購入しました。利用者様が車内へ乗り込みやすいフロントシートリフトを備えており、乗り込みが難しい方でも座席にきちんと座ることができ、安心して乗車できるようになりました。

これからも多くの利用者様が来所できるよう安全運転を心がけます。
ありがとうございました。



災害対応学習会が 開催されました

1月17日、福祉センターにおいて災害対応学習会を開催しました。この1月17日は1955年(平成7年)1月17日発生した阪神・淡路大震災に因んで、「防災とボランティアの日」として制定されています。

【第一部 講演会】

講演会は、「神城断層地震を経験して～発災から現在まで～」と題して、小谷村社協松沢秀明事務局長さんを講師にお迎えし、体験談をお聞きました。

講演内容は、一昨年11月22日県北部を震源とする大規模地震が発生し、小谷村では震度6強を記録。住宅被害が全壊33、半壊72、一部損壊224、非住宅被害全半壊43と大きな被害を受けたにもかかわらず、死者がなかったとのことでした。

これは日頃、地区で訓練を重ね地道な努力を積んできたこと、お互いの顔の見える活動が心掛けていたこと、高齢者の緊急連絡先を近所の方が把握していたこと、枕元にスリッパを置くことなど、日頃の備えと隣



近所の顔の見える付き合いが大切であるとお話でした。死者が出なかったのは奇跡ではなく、地域の絆が生んだ必然であるとの言葉が印象的でした。

【第二部 第一回災害ボランティアセンター立ち上げ訓練】

喬木村に「大規模地震、震度6弱が発生、死傷者多数、住宅被害多数」を想定に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を行いました。講師にNPO法人ローカルコミュニティ代表高田克彦さんを招いて、喬木村社会福祉協議会が作成したマニュアルに沿って訓練を行いました。災害ボランティアセンターには、社協の職員が班単位で担当に就いて、災害ボランティアとして参加者の皆さん全員が動作の確認を行いました。1時間と短い時間でしたが、最初に講師より災害ボランティアセンター各班の役割を説明してもらい、参加者は2班に分かれて、受付班から順に受付表に記入、名札作りを行い、マッチング派遣班で活動できる仕事



を選択して「活動紹介票・依頼票・地図」を持って5～10名程のグループを形成し、活動に関する注意事項を聞き、物資・輸送班で活動に必要な資材の提供を受けて、被災現場へと向かいました。活動終了後は、リーダーが活動報告書に活動内容を記入、資材等を物資・輸送班に返す一連の流れを訓練しました。初めての訓練でしたが、参加者の皆さん・職員共に真剣にきびきびとした動作で取組んでいました。

介護予防サポーター養成講座が始まりました

1月26日に、介護予防サポーター養成講座の第1回目が開催されました。

講師は飯田市役所福祉課の理学療法士塚原茂樹さん。実技実演を交えながらの、笑いあふれる和やかな講座となりました。

受講された方からも「高齢者の理解についてわかりやすく教えてもらえてよかった。」「介護をする上で参考になった。」との声をいただき、大変好評でした。

全5回行われるこの講座には、50名を超える大勢の方に参加の申し込みをいただいています。

高齢になっても、住み慣れた地域でいきいきと生活を送ることができると、地域活動や認知症について学習していきま



第2回ねやねやカフェを開催しました

このカフェは、

ボランテニア・地域活動のネットワークづくりを目的としたお話・

情報交換の場です。第1回目は

認知症カフェの話が出され「いず

れ私たちの行く場所にもなる」

と必要性を感じ

活動へ動きだしています。今回は、1月9

日に長野市へ視察に行った「縁側視察」の

報告会と情報交換を行いました。「こうやって話すのなんかいいよね。」「楽しいよね。」と話が弾み、思いを共有することができました。

このねやねやカフェは今後も定期的開催をしていきます。

毎月、第1木曜日※次回は3月3日(木)14:00、福祉センターで行います。

持ちより大歓迎で毎回美味しいものを食べながら、笑顔で楽しくお話ししましょう。



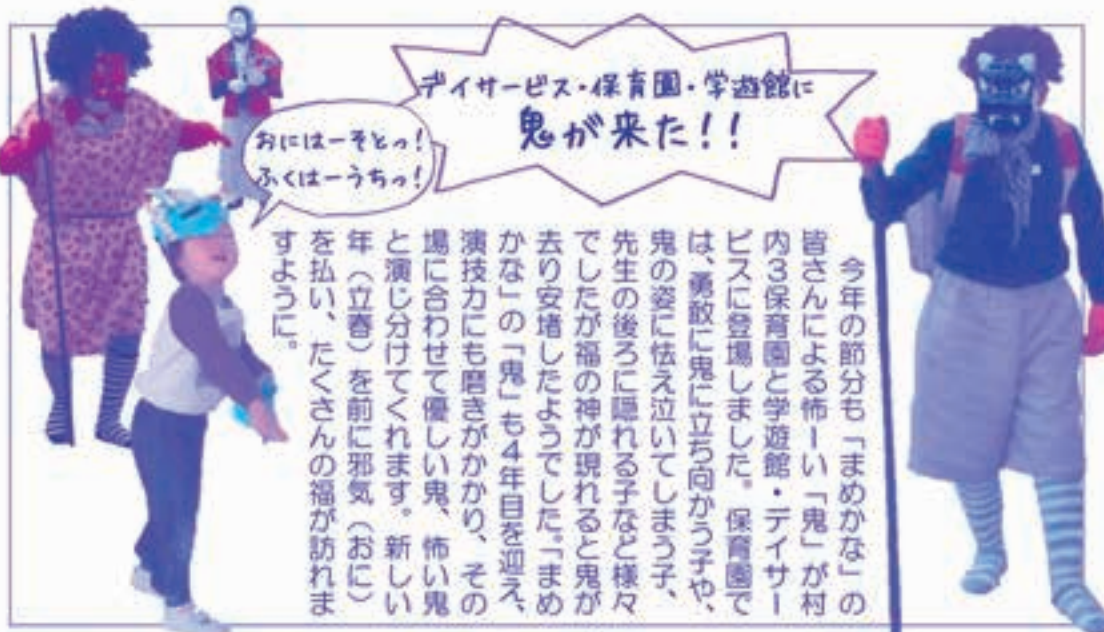
喬木荘 郭の皆さんとの交流会「おやす作り」

特養喬木荘で12月20日、「おやす作り」が行われました。この行事は、郭地区の皆さんと一緒に10年以上続いています。子供たちも集い、おやす作りの先輩から、手を取りながら教えてもらっている子供の姿は心とほほめしかったです。また、喬木荘の利用者様も昔取った杵柄、慣れた手つきが見られました。

郭地区と喬木荘のみんなにとって、新しい年が幸せな良い年でありますようにとの願いを込めて作ったおやすが、郭の皆さんの家と喬木荘の各お部屋に飾られ、良い新年が迎えられたことと思います。

ちょっといい話





今年の節分も「まめかな」の皆さんによる怖い「鬼」が村内3保育園と学遊館・デイサービスに登場しました。保育園では、勇敢に鬼に立ち向かう子や、鬼の姿に怯え泣いてしまう子、先生の後ろに隠れる子など様々でしたが福の神が現れると鬼が去り安堵したようでした。「まめかな」の「鬼」も4年目を迎え、演技力にも磨きがかかり、その場に合わせて優しい鬼、怖い鬼と演じ分けてくれます。新しい年（立春）を前に邪気（おに）を払い、たくさんの福が訪れますように。

さくみち



第11号

たかぎボランティア・地域活動情報誌

2016年2月発行

編集・発行

喬木村社会福祉協議会

ボランティアセンター準備室



飯伊ブロックボランティア交流研究集会在開催されました

2月7日（日）勤労者福祉センター・さんとびあ飯田にて飯伊地区のボランティア交流研究集会在開催されました。喬木村からは18名の方が参加され、他市町村のボランティアさんと交流を深めました。また、地域の元気なボランティアさんの活動発表に皆さん熱心に耳を傾けていました。持ち寄り特産市場では、昨年に引き続き「ちよっとおよりて喬木村縁側の会」の草木染手ぬぐいや、「手芸楽園いちご」の手芸品、さくらの園のお菓子が出店しました。

今年も行いました！
「手芸楽園いちご」
手作りバッグ指導☆
④学遊館



ボランティアグループ「手芸楽園いちご」のみなさんが、来年度入園する子供のお母さんたちに通園バッグの作り方を指導しました。参加者2人にいちごの皆さんがひとり指導に付き、ひとつひとつの過程を丁寧に伝え、2日間に渡る指導で通園バッグが見事に完成しました。

ボランティアの紹介

高井千恵子さん

高井さんは、ボランティアで歌謡舞踊を披露しています。自分でビデオを見て踊りを研究されており、取材をした両平のミニディでは、「祝い酒」「みだれ髪」など5曲を踊りました。曲に合わせて衣装や小道具も変わり、最後はアンコールにも応えて踊りを披露しました。

ご協力ありがとうございます!!

12月の「さくみち」でお知らせしたデイサービスへの古布回収に多くのご協力をいただいています。ありがとうございます!



1月8日に一日遅れではありましたが毎年恒例の「七草粥」をしました。七草の入ったお粥を土鍋で炊いてサラダを添え、みなさんの希望で大きなフランクフルトを鉄板で焼き、燻製は2時間前から仕掛けました。チーズの下にあつた竹輪が焦げて残念でしたが、スルメの味が程よく乗っていました。

みなさんそれぞれ得意な

さくらの園より



箇所を受け持ったり、フランクフルトのおいしそうな匂いのとりこになつたりして楽しみました。

昨年暮れからお菓子の新商品を販売しています。フツ・サクツという食感の「メレンゲ」といふような形の動物が型抜きされた新味クッキー「Zoo」です。クリスマス用にパッケージやクッキー型を変えて販売しましたが好評でした。さくらの園も含めて、喬木村役場、農村交流センター、特養喬木荘でも販売しています。

社協からのお知らせ

ありがとうございます

皆様の厚意に感謝いたします。11月

1月までにご寄付いただいた皆様方です。

市瀬 彦夫 様 (金一封)

山本 貴子 様 (造花)

○第8回喬木村社会福祉大会

くつなげようひろげよう 福祉の輪笑顔の輪

期日 平成28年2月21日(日) 午後1時

会場 喬木村福祉センター 多目的ホール

内容 ◆式典

◆福祉活動発表 第一小学校

◆講演「運動による認知症予防へ向けた

取り組み」

○映画「あん」チケット販売中です

期日 3月13日(日)

時間 第1回10:30 第2回14:00

場所 鼎文化センター

金額 大人(高校生以上) 1000円

小・中学生 800円

○書き損じハガキ募集!!

収集ボランティア活動として、書き損じた年賀ハガキ・通常ハガキを集めています。

募集場所 社協窓口

3月の予定

心配事相談…4日(金) 10:00～12:00 福祉センター

結婚相談…19日(土) 19:00～20:00 社協相談室

地域の縁側 ボランティア健康相談室…毎週水曜日(祝日除く) 16:00～18:00 社協相談室

ご意見・ご要望を
お寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

